



たんご
端午のせつくは、

ドラゴンボートまつりともいいます。

きゅうれきの5がついつか、

チマキがかおり、ショウブやヨモギを、のきさきにつるす、

しょか
初夏のきせつです。

すうじつ
数日まえから、いへの、かざりつけを、はじめます。



よる、イーイはおばあさんと、5しよくのいとを、あみしました。

「5が^{たんご}いつか、端午をいわう、ドラゴンボートをこいで、どらをならす」と、おばあさんが、うたいます。

イーイは、「どうして、ドラゴンボートにのるの? 」と、ふしぎそう。

「りゅうおうさまに、おねがひするためよ。ちゃんと、あめがふつて、^{あんしん}安心して、くませますようにつて」

「わあ! りゅうおうさまって、すごい! なんでもしってる?」

おばあさんは、わらいながら、「もちろん! なんでもこたえてくれるよ」

「どうやって、きいたらいいの?」

「そこにいる、りゅうおうさまに、^{しつもん}質問してから、こたえを2つ、よういしてね。よる、イーイがねてる

^{あいだ}間に、りゅうおうさまが、こたえをえらんでくれるよ」



そのひのよる、イーイはりゅうおうさまに、ききました。

「あした、いえのなかに、たいせつな^え絵を、かざるのよ。りゅうおうさま、
だれの^え絵か、しってる？ 鍾馗^{しょうき}さま（まよけのかみ）かな、それとも、財神^{ざいしん}
さま（ふくのかみ）かな？」



財神



钟馗





つぎのひのあさ、

おばあさんとイーイは、

しょうき^え 鍾旭さまの絵をはって、やくびょうがみを、おいはらいました。



あずき

らん
おう



よる、イーイはりゅうおうさまに、ききました。

「あした、おかあさんと、チマキをつくるの。

しょっぱいチマキには、お肉や、らんおうがはいつてる。

あまいチマキには、あずきや、なつめがはいつてる。

りゅうおうさまは、どのチマキがすき？」



イーイは、チマキづくり^{しんけん}に真剣です。

「5がついつか、端午^{たんご}をいわう、

おかあさんはチマキをにる。

たっぶりつめて、しっかりしぼる。

イーイは、ちゃんとおてつだい」

おかあさんが、チマキをつくりながら、
うたっています。



5

おかあさん、しってる？
りゅうおうさまは、あず
きあんのチマキが、すき
だよ！

イーイのおとうさん
も、あずきあんが、い
ちばんすきよ。





みつかめによる、イーイがおふろで、うたいます。

「さされない! ヨモギのおふろで、カにさされない!」

イーイはりゆうおうさまに、ききました。

「あした、ようちえんで、2くみにわかれて、ずこうをするの。

においぶくろか、かみのふねを、つくるのよ。

わたしは、どっちのくみに、なるかな?」



イーイは、かみのふねをつくる、くみになりました。

かみをおりながら、イーイがせんせいに、いいます。

「おとうさんが、
ドラゴンボートのレースに、でるんだよ！」

端午节快乐





1.せいほうけいのかみを、おって、ひらいて、おりめをつける



2.おりめにむけて、りょうがわをおる



3.さらに、はんぶんにおり、ひらいて、おりめをつける



4.おりめにむけて、りょうがわをおり、ひらく。おりめて、4とうぶんする



5.1/4のふぶんを、^{さゆう}左右にひらき、^{まんなか}まんなかのおりめに合わせておる。



6.かたがわの、りょうはしを、うえにむけて、おりかえす



7.うらに、せいほうけいが、できる。これを^{たいかくせん}対角線にそって、おりあわせて、できあがり!

做小船



完成啦

よっかめによる、イーイはりゆうおうさまに、ききました。

「あした、ようちえんにいくとき、^{かんぶく}漢服をきて、5しよくのいとを、うでにつけるの。

^{かんぶく}わたしの漢服には、ぼうしがあるとおもう？」

